

\*\*\*\*\*つくってみよう\*\*\*\*\*パーツドッキング編\*\*\*\*\*

パーツが出来上がったので、次にパーツ同士を繋ぎ合わせて完成させます。

基本

- ①「必須」は、必ず守ってください。無視すると大変です。最悪の場合、完成しません。
- ②「ポイント」は「作りやすいだろう」と思われるやり方です。必ずということではありませんので参考までに。

作り方とポイント

「頭部」顔と後頭部の貼り合わせです。後頭部の「切り抜き」部分にカッターなどで切込みを入れ、そこからハサミ等を差し込んで切って下さい。切り抜き部分は貼り合わせ時に指を入れて作業するための穴です。完成時には見えなくなります。

\*ポイント\*パーツの貼り合わせ時に、歪みが出る場合は糊代を一箇所ずつ確実に固定していき、最後の方は力技(無理矢理?)合わせて下さい。完成時には殆ど見えなくなりますし、後から不都合も出てはきません。

「髪」特に難しいところはありません。脇髪の処理(どっちを上にするか)は好みでどうぞ。

「頭と首の貼り合わせ」首というより背骨といった感じでしょうか。

\*ポイント\*頭部下の穴から首パーツを差し込みます。先に糊を付け頭頂部内側あたりに当たるように張り合わせて下さい。

特に「ここでなくてはいけない」という貼り合わせ場所はありません。

微調節で「うつむき加減」「上向き加減(\*必須\*あまりやりすぎると後髪が邪魔になります)」はお好み次第です。

「頭首と髪の貼り合わせ」それぞれのパーツの貼り合わせが乾いてから行って下さい。

\*ポイント\*糊付けは頭頂部周辺にして下さい。頭頂部辺りに大目の糊を置き、髪をかぶせて張り合わせます。

前髪の位置など調節し、乾くの待ちます。

「手にマイク握らせる」どちらの手でもかまいません。

マイクの糊しろは山折りです。親指のあるほうが上を向きます。

「ジャケットの完成」\*必須\*「体と頭」の前に、「体とジャケット」を先に張り合わせないと完成しません。

それぞれの袖をジャケットの内側から差し込むようにして貼り合わせます。

乾くの待って、手を付けます。手の貼り付けは外側から袖口に差し込むように付けます。

親指が上になるようにそれぞれ付けて下さい。

「頭部を体に付ける」頭と首の貼り合わせ同様、「ここに付けなければ」という事はありません。

\*ポイント\*軸になる首部分の先に糊を付け、肩口の穴から差し込みます。

おおよそ中心にあれば、多少の傾きは大丈夫です。

「胴に足を付ける」斜めにカットしている方が胴体に付く側です。

\*ポイント\*好み次第ですが、左右の足をピッタリ付けすぎるとスニーカーが履けなくなります。スキ間を多少空けてください。

目安としては、尻部の中心点を挟んで、足の糊しろ同士が重ならない程度に空けると良いでしょう。

「靴を履かせる」靴底を見ると左右がわかります。

\*ポイント\*多少ぐら付くようでも立てるハズですが、どうしても上手くいかない場合は、長いほうの足を多少カットするなり

して調整してください。切るまでもないけどもっと安定させたい人は、スニーカーの中に10円玉を貼り付けるなど

オモリを入れるのも良いでしょう。

お疲れ様でした。

お好きなところに飾って、かわいがってあげて下さい。

文章だけで判りにくい場合は、HPのQ&Aを参考にして下さい。写真解説を載せてみました。

それでも・・・という方はHPのTOPからメール下さい。BBSでも構いません。ご感想もお待ちしています。